



第105回全国高等学校野球選手権記念和歌山大会

第105回全国高等学校野球選手権記念大会では、2回戦「県立和歌山高校」に3-1。3回戦ではシード校「箕島高校」に5-4で勝利し10年ぶりにベスト8まで勝ち残る事ができました。

準々決勝で「和歌山北高校」に負けてしまいましたが、『村の応援を力に！』を合い言葉に分校生徒が一丸となって試合に臨めたことで、他者の期待に応えることの達成感や喜びを得ることもできました。

次に繋がる大きな成長を得た大会となりました。暖かい応援ありがとうございました。



中学生対象「第一回 体験学習」

8月7日（月）に一回目の中学生対象の体験学習を行いました。県内外からの参加生徒があり、保護者の方々と一緒に授業の体験と施設見学、クラブの体験入部をしてもらいました。

第2回の体験学習を10月に予定していますが、連絡をいただければ学校説明と施設見学はいつでも受け付けています。



「翔龍祭」第2回企画会

8月21日（月）の午後7時から今年度の「翔龍祭」の第2回企画会議が行われ、生徒会長の上村凌賀くんが分校生徒代表として会議に参加しました。実行委員会の龍神村森林組合長や文化協会長を中心とした多くの方々と活発な意見交換を行うことができました。

「参加させてもらう」立場では無く、“積極的な分校生徒の発表や参加が期待されている”ことを実感する会議となりました。期待に応えられるよう頑張ってください。

令和5年度県下高校野球新人戦（サンナンランド野球場）

3年生が引退し、新チームが6名でスタートしました。単独チームでの大会参加ができず、有田中央高校・串本古座高校との3校合同チームで新人戦に臨みました。8月19日（土）10：00～、串本町のサンナンランド野球場で国立和歌山工業高等専門学校と対戦し、5対7のスコアで接戦を惜しくも勝ち取ることができませんでした。

次の「秋季近畿地区高等学校野球大会県一次予選」も合同チームでの参加となります。集まった練習も制限がありますが、しっかりチームワークを磨いて試合に臨んで欲しいと願っています。

